

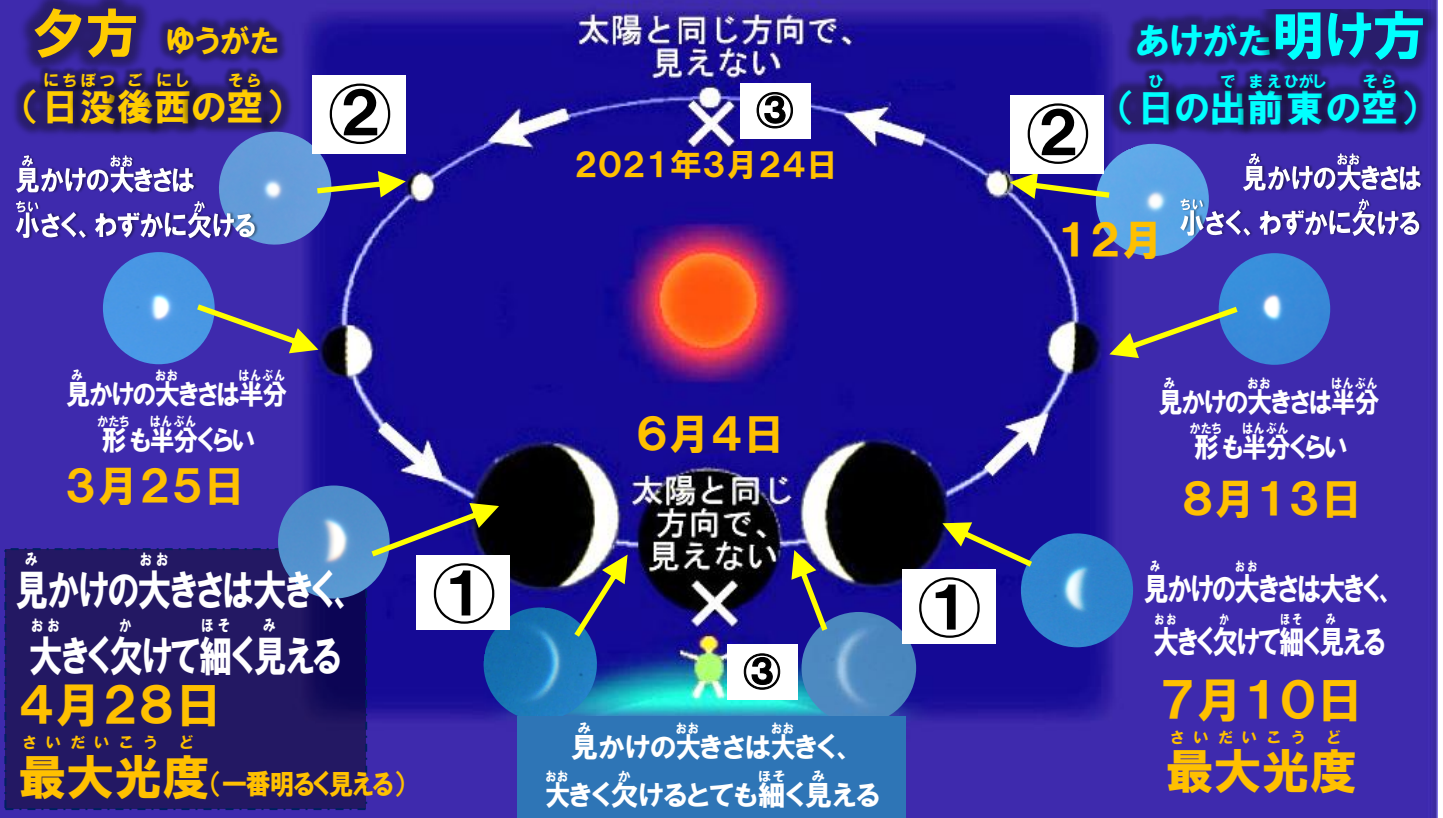


### 金星の満ち欠け

地球よりも太陽に近いところにある金星は望遠鏡で見ると見かけの形と大きさが変わります。それはなぜ起きるのかどう見えるのか紹介します。

図の中の写真は過去に当館80cm望遠鏡で撮影した金星です。

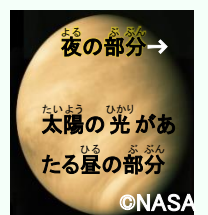
## 2020年の金星の見え方 夕方西の空(5月中旬まで) / 明け方東の空(6月中旬から)



金星には常に片方だけ太陽の光があたるため、地球から見る金星の形は、地球から見る月の形と同じように、地球、金星、太陽のそれぞれの位置の変化とともに変わります。

- ①地球に近いとき：大きくて、欠けている部分が多く、細く見える
- ②地球に遠いとき：小さくて、見ている部分が少なく、丸く見える
- ③地球から見ると太陽と同じ方向にあるとき：見えない

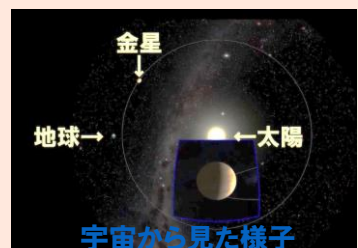
宇宙から見た金星の写真だよ。→金星にも地球と同じように「昼」と「夜」があるのわかるね。



やってみよう！ 見てみよう！ ↓ 画像のタイトルをクリックすると動画にジャンプします。



ライトとボールを使ってやってみた！



宇宙から見た様子



西の空での金星の見え方

中学校3年生で勉強することが多いこの「金星の満ち欠け」。学習の参考になるよう宇宙から見た時の地球・金星・太陽の位置が分かる動画や家でも実践できる実験動画をYoutubeにアップしました。